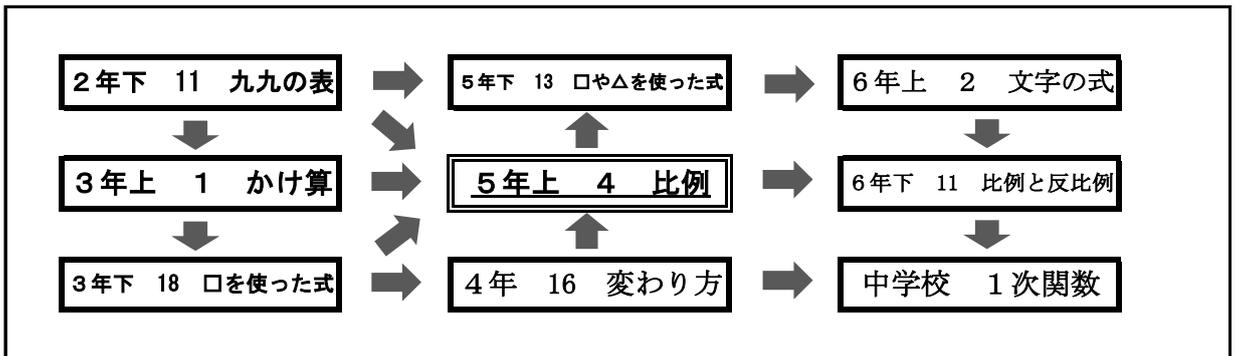




なぜ、学年が上がるごとに算数科の問題が解きにくくなるのでしょうか？

1 小学5年生の算数科の指導内容から見てくること！

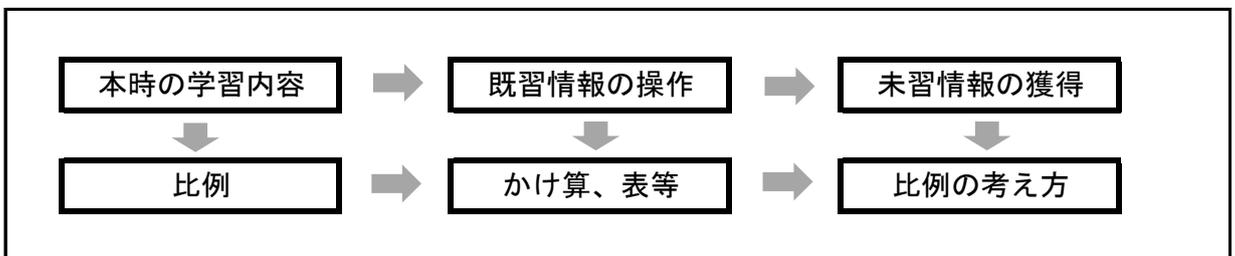
小学校5年生の算数科に関する教科書5年上 4 比例の単元を分析すると、あらためて、「比例」に関する指導内容が各学年の積み重ねのうえに、組み立てられていることを理解していただけたらと思います。



2 学年が上がるにつれて、これまでの学習内容の定着(既習情報)が大切です！

本校の算数科に関する授業は、既習情報を活用し、その情報を操作しながら、未習情報を獲得できるよう(学習内容の定着)、児童を指導しています。

図にすると以下のとおりです。



算数科の授業構造は、既習情報を活用して、未習情報を獲得する過程です。

その既習情報が定着していない場合、問題が解きにくい構造になっています。

3 教科書を活用して、算数科の復習をさせましょう！

- (1) 算数科の指導内容が定着していない場合、自学ノートを活用して、教科書に掲載されている各学年の問題及びまとめ問題をやらせてあげてください。
- (2) 算数科において、既習情報が定着していないと未習情報を獲得できないことを教員、保護者及び児童で共有化しましょう。算数科に関する学力向上の手だては、家庭学習で、その日に学んだことを復習させることです。
- (3) 家庭学習は、算数科でこれまで学習した内容を復習するには、絶好の機会です。
「児童の幸せのために」、保護者と学校が協働して、取り組みましょう。
- (4) 教科書及び自学ノートの活用等については、学級担任と相談してください。